



特色生かした体育祭

東雲高 14種目にぎやかに

篠山東雲高校（66人）で7日、体育祭が開かれた。リレーや綱引きなどの定番種目の他に、牛の飼料となる直径15センチほどの円柱状のワラの塊を転がしたり、活動・研究の

アグリサービス類型の活動・研究のために飼育している犬とゴールを目指す選手
＝丹波篠山市福住で

ために学校で飼育している犬と一緒にトラックを駆け抜けたりするなど、同校の学びを表現したユニークな種目も披露され、盛り上がりを見せた。「デカンショ競走」と名付けた障害物リレーでは、土のうを抱えて運んだり、ハードルをくぐったりしたほか、大玉転がしならぬ「大わら転がし」などの関門をクリアしながらトラックを1周した。

14種目最後の競技は「類型リレー」。アグリプロダクト、フード・インスティテュート、アグリサービスの3類型それぞれの日頃の取り組みや特色を表現しながら順位を競う種目で、一輪車を押したり、籠に入れたマドレーヌを客席の保護者に販売したりしながらゴールを目指す。

アグリサービスで飼育している犬をリードにつないで一緒に走った際、非日常の状況に驚いてか、突然走るのをやめて動かなくなる犬もあり、そのハプニングに会場から笑いが起こった。

生徒会長の
さ

2024年6月13日
丹波新聞

ん（3年、西紀中出身）は、「競技を通して団結力の強さを感じることができ、これまでの学校行事の中で一番楽しかった。次の文化祭も一丸となって頑張りたい」と笑顔を見せた。